

世界の電気トラック用バッテリーの成長機会

【概要】

本調査では、世界の電気トラック用バッテリーの成長機会について分析しています。具体的には、2030年までの市場規模と収益予測、現在のバリューチェーン参入企業、原材料の中期的需給見通し、電気トラックを開発する主要OEMとそのサプライヤー、電気トラック用バッテリーの主要化学材料、地域別およびセグメント別のシェア、総保有コストにおけるバッテリーの化学材料の影響などが含まれています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2020年から2030年までです。

【内容一覧】

戦略的重点

成長環境

- 主なポイント
- 成長指標
- 世界の電気トラックの予測：概況
- リチウムとコバルト：2025年までの供給と需要
- バッテリー技術ロードマップ
- 世界のリチウムイオン電池（LiB）の生産予測
- バッテリーポートフォリオ：バッテリーバリューチェーンマッピング
- 世界のバッテリー化学材料の動向
- 成長促進要因
- 成長阻害要因
- 調査範囲
- 調査目的
- 調査で対処される課題
- パワートレイン技術セグメンテーション

電気トラック市場の見通し

- 世界の電気トラックの予測：概況
- バッテリー化学材料の分析：主要OEM
- 主要OEMのモデル：北米のバッテリー容量マッピング
- 主要OEMのモデル：欧州のバッテリー容量マッピング
- OEM：バッテリーセルサプライヤーマッピング

- ・ OEM：バッテリーパックサプライヤー分析
- バッテリーバリューチェーン：概況
- ・ バッテリー製造バリューチェーン概況
- ・ セル生産方式：工程
- ・ カソードサプライヤー
- ・ バッテリーパック製造における主なバリューチェーン参入企業
- ・ バリューチェーンにおけるバリューシェア
- リチウムイオン電池の原材料
- ・ 原材料の入手性
- ・ 原材料の入手性：地域構成の概況
- ・ 原材料の供給と需要
- ・ 2025 年までのリチウムの消費と需要
- ・ リチウムサプライチェーン
- ・ 2025 年までのコバルトの消費と需要
- バッテリー生産予測
- ・ 世界のリチウムイオン電池生産予測
- ・ バッテリー生産シナリオ：地域別概況
- ・ メーカー別バッテリー生産能力
- ・ 世界のリチウムイオン電池の生産能力：2020 年と 2025 年
- ・ 2020 年の中国のリチウムイオン電池生産工場
- ・ 2025 年に欧州で計画されるギガファクトリー
- バッテリー化学材料：現在および今後の動向
- ・ バッテリー化学材料の見通し
- ・ 有望視されるリチウムイオン電池
- ・ NMC バッテリーの化学材料：ロードマップ
- ・ より高いエネルギーのため普及が進む NMC バッテリーの化学材料
- ・ バッテリー化学材料別の主な原材料組成
- ・ バッテリーフォームのタイプ
- ・ 化学材料およびタイプ別のバッテリーサプライチェーン
- ・ ブレードバッテリー：メリット
- ・ ケーススタディ：BYD ブレードバッテリー
- ・ 革新的な OEMS による商用車バッテリー開発
- 全固体電池
- ・ 化学材料別エネルギー密度と電圧
- ・ 原材料
- ・ 主な価値提案
- ・ 商用車の全固体電池コスト分析
- 成長機会分析：商用車におけるリチウムイオン電池の需要
- ・ バッテリー容量の予測
- ・ 収益予測

- ・ 欧州：バッテリー化学材料予測：2025 年
- ・ 北米：バッテリー化学材料予測：2025 年
- ・ 予測分析：電気トラックのバッテリー
- ・ 商用車用バッテリー化学材料の比較分析

バッテリーコスト分析

- ・ LFP および NMC のバッテリーコスト予測：商用車
- ・ リチウムイオン電池のコスト内訳
- ・ 化学材料別リチウムイオン電池のコスト内訳

総保有コスト（TCO）におけるバッテリー化学材料の影響

- ・ バッテリー容量が定格車両総重量（GVWR）に与える影響
- ・ ディーゼルと電気の比較（LFP、NMC）

機会分析

- ・ 車種別の機会
- ・ サプライチェーンの最適化における機会
- ・ バッテリーの二次利用とリサイクルの機会

成長機会のまとめ

次のステップ